

チャレンジクラス「あたご Space」 Q&A 集

令和7年2月時点
多摩市教育委員会教育指導課

項目	質問	回答
通学	自力で通うことが原則だが、学区外で遠い場合、どのようにすればよいでしょうか？	学区外であっても原則徒歩での通学となります。学校まで距離があり、徒歩での通学が難しい場合は、公共交通機関を利用して通学することとなります。
学校生活	制服はどうなりますか？	服装は自由です。以前の在籍校の標準服を着てもいいですし、私服でも構いません。また、東愛宕中学校の標準服を購入しても構いません。
学校生活	通常学級との交流があるのでしょうか？	設置校（東愛宕中学校）の学校行事（例えば、体育祭や合唱コンクール、校外学習、修学旅行）などに参加することを通して交流することがあります。ただし、本人の心理的負担を考慮し、参加の有無や参加方法についてはチャレンジクラスの教員と相談しながら進めていきます。
学級編成	生徒の定員は定めていますか？	通常学級と同様、定員は1学級最大で40人となりますが、少人数での指導を想定しています。
学級編成	1学級の定員が40名程度とのことですが、定員を超えることはあるのでしょうか。また、定員を超えた場合の対応はどのようなことを市教育委員会として考えているのでしょうか？	超える可能性はありますが、今年度の9月時点では1学級が40名を超えている学級はありません。また、定員（1学級最大40人）を超えた場合においても、少人数指導を展開できるよう学級編成や指導方法等を工夫してまいります。
学級編成	何学級できるのですか？	各学年1学級の計3学級です。
学級編成	特別支援学級とあたご Space はいずれも少人数の指導ですが、どんなことが違うのでしょうか？	特別支援学級には、多摩市においては2種類あり自閉症・情緒障害特別支援学級（以下、情緒固定）と知的障害特別支援学級（以下、知的固定）があります。情緒固定では、「自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難なこと」を対象としており、知的固定では「知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難な程度であること」を対象としています。つまり、<u>障害等の困難さがあり通常の学級では十分に学習の効果を上げることが難しい児童・生徒のために特別編成された学級でその障害等へ対応するために少人数での編成をしています。</u> 一方で、チャレンジクラス「あたご Space」は校内別室学級であり、通常学級と同様の教育課程である

		ため、 <u>特別支援学級で受けられる自立活動等の特別な支援はなく、不登校の支援のための少人数での学級編成であることが大きな違いです。</u>
授業	設置校の通常学級の授業、部活動、学校行事に出ることは可能ですか？	希望すれば可能です。ただし、設置校（東愛宕中学校）校長の許可が必要ですので、チャレンジクラスの教員と相談しながら進める必要があります。
授業	学習は学年別で行うのですか？	原則、学年別で行いますが、内容によっては他の学年と合同で行うこともあります。
授業	ゆとりある時程だと通常学級よりも授業時間が少なくなると思いますが、評価・評定はどのようになるでしょうか。	設置校（東愛宕中学校）の年間指導計画や評価計画に基づいて授業を実施し、評価・評定を行います。なお、学校に通うことができず、評価資料がない場合は、通常学級や特別支援学級と同様、評価をすることができません。通常学級では年間1015時間の授業を行い、あたご Space では665時間程度の授業を行いますので、短い授業時間の中で学習内容が理解できるよう授業の工夫（学び直しが可能な1単位時間の構成）を行い、評価・評定を行っていきます。
授業	授業数が通常学級より10コマ少ないが、通常学級と同様の内容を学べるのか、少ないことにより差がつかないのか知りたいです。	通常学級に比べて授業時数が少なくなることにより、学習内容の習熟を図る時間が少なくなることは想定されます。そうした場合でも、生徒一人一人の実態に応じた支援を行うことが重要であると考えます。あたご Space の授業時数だけでは十分でないと保護者・生徒・教員で判断した時は、例えば、保護者・生徒の意向を踏まえつつ、校長の了承の下、東愛宕中学校の通常学級の授業に参加することも可能です。
授業	登校できないことが多いかもしれませんが、その場合は評価・評定は進路に影響しますか？	登校できないことをもって評価をするわけではありません。学校の学習内容に取り組み、評価が可能な場合、評価をしていきます。登校できないから評価がI（5段階）、評定がC（3段階）に下がるということはありません。また、評価ができないことをもって、都立高等学校の入学資格等に影響はありません。
授業	登校を少しずつできるようにしたいので、例えば、登校日を限定し、オンラインを併用することや、登校時間を少しずつ伸ばすために、登校時間を遅らせることは可能でしょうか？	あたご Space では個別支援計画を作成し、本人の不登校の状況をアセスメントし、手だてを考えていきます。その中で、ご質問にあるような手だてが望ましいと考えた場合は、実施していきます。
部活動	現在在籍校の部活動を楽しんでいます。あたご Space に在籍した場合、東愛宕中学校の部活動でなく、現在の在籍校の部活動に行くことはできるでしょうか？	東愛宕中学校の在籍となるため、現在お子さんが在籍する学校の部活動に参加することは、移動等に時間がかかることも考慮し、在籍校の部活動に参加することはできません。
施設	教室の配置はどのようになっていますか？	通常学級との接触等について、できる限り配慮や工夫をしています。
施設	あたごスペース専用の出入口を設けるのか知りたいです	通常学級との接触等や登校時刻の異なることへの配慮から通常学級の昇降口は別の昇降口を設けています。
フリースクール等との連携	フリースクールとの併用はできるのでしょうか？また、フリースクールに出席したら、出席と扱われるのでしょうか。	あたご Space の目的を踏まえ、ゆとりある生活時程の実現と、実態に応じた支援を行うことを前提にしていますので、最初からフリースクールとの併用は想定しておりません。お子さんにとって、フリースクールとの併用が効果的な支援につながることを設置校と保護者・本人との面談や、個別支援計画の中で確

		認することが必要と考えます。 フリースクールに出席した場合の扱いは、あたご Space に限らず、校長がフリースクールの教育活動を確認し、認めれば出席と扱うことが可能となります。
入退級	書類の提出期限はどのようになっていますか？	令和 7 年度及び 8 年度当初の入級に関しては第 1 期から第 6 期の全 6 期の体験入級と入級審査を行います。それぞれの提出期限・対象が決まっていますので、学校と相談の上、教育委員会の提出期限に間に合うよう手続きを進めてください。
入退級	入級希望すると、入級審査、面談、決定日など、いつ頃になるのか？今後の流れやおおよその日程はどのようになっていますか？	在籍校の校長との面談は、書類の提出期限よりも前に、保護者等と面談を実施します。その上で、入級審査に係る書類を作成し、在籍校が教育委員会に提出することとなります。その後、設置校から連絡があり体験入級の日程が決まり、2 週間程度の体験入級を経て、入級審査を行い、入級の可否等の判定がでます。判定の結果は郵送で送付されます。 入級申込については、第 1 期から第 6 期までがあり、対象が異なることがありますので保護者宛て通知をよくご覧いただきますようお願いいたします。
入退級	小学校 6 年生（新中学校 1 年生）の体験入級や入級の決定はどのようになりますか？	小学校 6 年生は、中学生ではないので体験入級を行うにあたって、小学校 6 年生が行うことのできる内容で体験を行うので、あらかじめ設定された期間に体験入級を行います。時期としては 11 月後半から 12 月初旬に行う予定です。（第 5 期）また、入級の決定については、就学通知書が送付される 1 月初旬に決定通知を送付する予定です。このことについては改めて学校を通じてお知らせします。
入退級	入級を申し出た際に、在籍校の校長と面談をするとのことだがどのようなことを面談するのでしょうか？	面談では、入級に当たっての本人、保護者の意向や現在の本人の状況、あたご Space に入ってどんなことをしたいかなどについて面談を行います。
入退級	「あたご Space」への入級のための面談や審査の過程で、「適応教室」の方が良さそうであると、アドバイスや方針変更の手続きなどについてのご案内をいただくことは可能でしょうか？	入級審査においては、あたご Space に入級することを審査するため、アドバイスや方針変更の手続きをご案内する場ではありません。ただし、入級審査前の学校との面談の際に、「適応教室が良いか」「あたご Space が良いか」を具体的に相談することは可能です。
入退級	退級に条件はありますか？	退級に当たっては、本人・保護者の意向や希望を踏まえ、設置校の校長と面談を行い、その後、退級審査会を経て、退級となります。なお、あたご Space に登校できる日数が少なくなってしまったなどの理由をもって退級になることはありません。
入退級	特別支援学級に通学していますが、現在不登校の状態です。入級できるでしょうか？	あたご Space では不登校への支援を行っていきます。そのため、特別支援学級で受けることができる自立活動等の特別な指導・支援が十分受けられないことを本人・保護者が理解し、了承した上で、入級審査会で認められた場合、入級できます。